

第9節 渡良瀬遊水地課

〔総括概要〕

渡良瀬遊水地課の主な分掌事務は、渡良瀬遊水地に係る企画・調整、普及・啓発、環境保全・利活用、藤岡遊水池会館及び渡良瀬遊水地ハートランド城に関することである。

渡良瀬遊水地に係る企画・調整については、ラムサール条約登録湿地関係市町村会議への参加や渡良瀬遊水地保全・利活用協議会の主催など、関係自治体及び関係団体との連携、交流を行った。

渡良瀬遊水地の普及・啓発については、ラムサール条約登録記念日を中心としたPR活動の実施、公式“X”（旧ツイッター）等を活用し、幅広い層の方に対して渡良瀬遊水地に親しみを持ってもらえるような事業を行った。

環境保全については、渡良瀬遊水地の現状を把握するための生態系調査としての植物の現地調査を行ったほか、希少植物保全のための外来植物除去活動や湿地環境保全のためのヨシ焼きを実施した。

また、周辺に飛来するコウノトリの定着を目指し、巣塔回りのヨシ刈りをするなど生息地環境の整備を行ったこともあり、3月に1組のコウノトリが営巣し産卵推定に至った。

利活用については、渡良瀬遊水地の利活用を促進するため、人材育成としてボランティアガイド養成講座の開催と渡良瀬遊水地ガイドクラブの支援等を行ったほか、環境学習やスポーツ、5年ぶりに谷中湖での渡良瀬遊水地フェスティバル開催など渡良瀬遊水地を活用したイベントを実施した。また、渡良瀬遊水地の様々な資源や環境の保全に取り組む“守り人”として行動し、未来につなげる活動を推進するため、会員組織のファンクラブである渡良瀬ナイツクラブの運営を行った。

また、ラムサール条約登録10周年の令和4年10月に、渡良瀬遊水地及び渡良瀬遊水地ハートランド城が「恋人の聖地」として選定されたことから、選定記念の関連事業を行った。

ラムサール推進係

1 渡良瀬遊水地に係る企画・調整

(1) ラムサール条約登録湿地関係市町村会議

国内のラムサール条約湿地関係市町村で組織する「ラムサール条約登録湿地関係市町村会議」において、副会長市であることから、釧路市及び釧路湿原を会場とした令和5年度主管者会議及び第14回学習・交流会に参加した。

- ・実施日 11月1日（水）～11月2日（木）
- ・会場 釧路プリンス ホテル（北海道 釧路市）
- ・参加市町村会員71市区町村のうち25市区町村
（ラムサール条約登録湿地53か所のうち25か所）

(2) 渡良瀬遊水地保全・利活用協議会

渡良瀬遊水地に関係する自治体や国、自治会代表、治水団体、利用する団体、環境保全等を行う団体など44団体で構成する「渡良瀬遊水地保全・利活用協議会」において、8月8日開催の総会から会長市となり、定例会を開催するなど各団体との情報共有・意見交換を行った。

また、協議会の下部組織である部会では、「環境教育・普及啓発、利用ルールづくり、歴史文化啓発」のワーキンググループ②として「環境教育のためのハンドブックづくり」に取組み、「渡良瀬遊水地の将来像(ビジョン)の策定に必要な前提事項の議論」のワーキンググループ③では、将来ビジョンの策定に向けて会議を行った。

令和5年度渡良瀬遊水地保全・利活用協議会 総会

- ・実施 8月8日(火)
- ・会場 小山市 道の駅思川 小山評定館研修室
- ・参加団体数 31団体

(3) 三県境事務担当者会議

栃木、群馬、埼玉の3県に跨る三県境について地域の観光資源として、板倉町及び加須市と連携して利活用及び環境整備を行うため、定期的に担当者による情報交換を行った。

(4) 地域おこし協力隊活動事業

地域おこし協力隊員を1名委嘱し、渡良瀬遊水地の様々な役割と魅力を貴重な地域資源と捉え、各種団体・企業・地域住民と連携して、新たな魅力や地域資源の発掘や交流人口の拡大につながるよう下記のプロジェクト等の企画・運営を行った。

- ・渡良瀬遊水地と周辺地域をつなぐ情報発信
- ・三県境社会実験「おもてなしテラス」及び「若返りプロジェクト」
- ・栃木市長と国土交通省利根川上流河川事務所長のトップ対談
- ・渡良瀬遊水地のヨシを活用した新商品開発等

2 藤岡遊水池会館管理

(1) 施設管理

建物、駐車場及び施設内設備・物品・植栽の維持管理を行った。また、市民交流の場として、一般財団法人渡良瀬遊水地アクリメーション振興財団が運営する渡良瀬遊水地湿地資料館と連携して情報発信に努めた。

(2) 施設の貸館状況

大会議室の貸館を行っているほか、一部を一般財団法人渡良瀬遊水地アクリメーション振興財団に事務室として貸し付けている。

大会議室の利用状況

使用件数(件)	使用人数(人)	使用料(円)
324	5,724	157,050

3 渡良瀬遊水地の環境保全

(1) 渡良瀬遊水地クリーン作戦

毎年1回4月に渡良瀬遊水地の美化促進及び自然環境の意識高揚を図るため、企業や地域住民及び一般利用者が参加し、清掃活動を実施しているが、悪天候のため中止した。

(2) 希少植物保全のための外来植物等除去活動の実施

渡良瀬遊水地には多くの希少植物が生育しているため、この豊かな生態系を保全する必要性を広く周知することを目的に、植物の専門家による指導のもと、希少植物保全のための外来植物等除去活動の参加者を募り実施した。尚、第2調節池の活動については、河川管理者による工事の影響で実施を見合わせたほか、4月及び9月に予定した保全活動は雨天のため参加者の活動は中止し、後日職員のみで実施した。

実施日	場所	人数	保全植物
5月13日（土）	渡良瀬遊水地 第1調節池内	150人	アゼオトギリ他
6月28日（水）	渡良瀬遊水地 第1調節池内	10人	ノジトラノオ

(3) 渡良瀬遊水地生態系現地調査業務

渡良瀬遊水地は国指定の絶滅危惧種を含む希少植物が多く生育する豊かな自然環境にあるため、業務委託により環境学習池の生育状況や生育環境について現地調査を行い、今後の保全活動に向けた施策に供した。

(4) 環境学習池の維持管理

谷中湖北側の史跡保全ゾーンに本市が占有している環境学習池（ハート池）があり、池内は約20種類の絶滅危惧種植物が生育している特異な場所であるため、雑草の定期的な刈り取りや池周囲に繁茂する桑の伐根作業等を行い、良好な生育環境の保全に努めた。

(5) ヨシ焼き

貴重な湿地環境の保全、害虫の駆除、樹林化の防止等を目的に、渡良瀬遊水地ヨシ焼き連絡会主催のもとヨシ焼きを実施した。実施結果は下記のとおり。

日時	3月3日（日）8時30分開始 20時25分終了
主催	渡良瀬遊水地ヨシ焼き連絡会
実施区域	渡良瀬遊水地全域
関係者等	○総数：約 720 人 ・古河市、栃木市、小山市、野木町、板倉町、加須市、利根川上流河川事務所、渡良瀬遊水地アクリメーション振興財団、各消防署、各警察署 約 200 人 ・渡良瀬遊水地利用組合連合会及び関係自治会 約 270 人 ・地元消防団 約250人
概要	○焼却面積：約 1,200ha（予定区域約 1,500ha の約 8 割） ○見学者数＝2,200 人

(6) コウノトリ生息地環境整備

ふるさと応援寄付金を財源として、渡良瀬遊水地内2カ所に設置されている人工巣塔周辺の環境整備を行った他、第1調節池内の人工巣塔に営巣をはじめたコウノトリを見守るため、旧谷中村合同慰霊碑敷地内の監視用カメラにより観察を行った。

	寄附金件数(件)	寄附金額(円)※累計
--	----------	------------

ふるさと納税	1,535	45,247,000
--------	-------	------------

ハートランド城係

1 渡良瀬遊水地の普及・啓発

(1) ラムサール条約登録記念日、PR強化月間

渡良瀬遊水地がラムサール条約に登録された7月3日をラムサール条約登録記念日、7月をPR強化月間として、各種PR活動を行った。

ア 栃木市役所 本庁舎への懸垂幕の掲示

・掲示期間 6月21日～7月31日

イ 栃木市内公共施設へののぼり旗の掲示

・掲示期間 6月21日～7月31日

ウ 渡良瀬遊水地PR展（栃木市市民交流センターでのヨシ細工展示とパネル展）

・開催期間 7月1日～7月14日

(2) 渡良瀬遊水地キャラクターの利用促進

渡良瀬遊水地課公式ツイッターとInstagramで、ハートランドキャラクターが渡良瀬遊水地の「今」の情報を発信した。また、当初よりキャラクター制作に関わっている栃木女子高等学校美術部の生徒と協議し、新キャラクターを制作した。

(3) 渡良瀬遊水地キャラクターの着ぐるみによるPR活動

平成26年度に制作した^{ハーツ}Hearts姫、^{わたらせナイフ}Watarase712の2つのキャラクターの着ぐるみで栃木市内及び渡良瀬遊水地周辺の市町で開催されたイベント等に出演し、渡良瀬遊水地及びハートランドのPR活動を行った。

(4) 「渡良瀬ナイツクラブ」の運営

治水や利水、自然、歴史、レジャー・スポーツなど様々な要素を持つ渡良瀬遊水地をより良く活用するために行動し、“守り人”となり渡良瀬遊水地を保全し続け未来につなぐことを目的とした会員組織のファンクラブを運営した。また、紙資源の有効活用のため、会報誌である「渡良瀬ナイツクラブ通信」の完全メール配信化を進めた。

・会員数 一般会員 166人

特別会員 7人

サポート店 1店

・ナイツクラブ通信発送回数 5回

(5) 小山市との連携によるヨシ灯り展の開催

小山市との連携事業として、両市が渡良瀬遊水地に自生するヨシを活用した「ヨシ灯り」を作成し、ライトアップを行った。共催4年目となった今回は栃木市会場で実施。

・実施日 10月14日（土）

・会場 藤岡渡良瀬運動公園

・来場者数 1,100人

(6) 渡良瀬遊水地キャラクターアニメーション放映

藤岡地域会議提案事業として制作した渡良瀬遊水地キャラクターによる渡良瀬遊水

地のPR動画を渡良瀬遊水地課公式YouTubeで公開し、幅広い層にPRした。

(7) 恋人の聖地関連事業

令和4年10月1日に、渡良瀬貯水池（谷中湖）及び渡良瀬遊水地ハートランド城が恋人の聖地に選定されたことから、本県産木材を使用した実物大コウノトリのモニュメント及びハートのオブジェを館内に展示するとともに、イベント事業を開催した。

- ・12月18日 カップルフライト（熱気球搭乗）天候により中止（2月18日代替）
- ・2月11日 「恋人の聖地選定記念バスツアー」での遊水地案内
- ・2月18日 バレンタインフライト（熱気球搭乗）の実施
係留8組、フリーフライト2組

2 渡良瀬遊水地の利活用

(1) 環境学習

ア クリーンメガSUPツアー

実施日	場所	参加人数	内容
6月17日（土）	谷中湖	14人	メガSUPに乗り、谷中湖畔のゴミ拾い

イ 夏のわくわく大作戦！親子水辺教室

実施予定日	会場	参加人数	内容
8月5日（土）	谷中湖	31人	植物観察、カヌー体験

ウ ツバメのねぐら入り観察会

実施予定日	会場	参加人数	内容
8月18日（金）	ハートランド城～ 鷹見台・池内水路	14人	ツバメの生態についての説明及びねぐら入りの観察

(2) 渡良瀬遊水地フェスティバル2023

- ・開催日 令和5年10月8日（日）
- ・会場 渡良瀬遊水地子ども広場ゾーン及び谷中湖北ブロック
- ・主催 渡良瀬遊水地フェスティバル実行委員会
- ・内容 スカイスportsやウォータースports、ロードバイク等の展示や体験
ビッグテント内でのステージイベント、スタンプラリー等
- ・来場者数 2,500人

(3) 渡良瀬遊水地ぐるり旅

遊水地周辺をバスでガイドクラブが案内するぐるり旅を実施した。

実施日	参加人数	備考
5月27日（土）	17人	
6月10日（土）	30人	栃木県誕生150周年記念 2回

(4) わたらせ熱気球day

渡良瀬遊水地のPR及び安全かつ気軽に熱気球を楽しむ機会を提供するため、渡良瀬運動公園にて毎月第3日曜日に熱気球係留飛行体験を実施した。

実施日	参加組数	参加人数	備考
-----	------	------	----

4月16日(日)	44組	120人	
5月5日(金・祝)	53組	162人	特別日として、小学生以下の体験料を無料で実施
5月21日(日)	40組	100人	
6月10日(土)	28組	77人	栃木県誕生150周年記念
6月18日(日)	40組	84人	
7月16日(日)	26組	59人	
8月20日(日)	26組	78人	
9月17日(日)	37組	105人	
2月18日(日)	31組	125人	
3月19日(日)	46組	139人	
合計10回	371組	1,049人	悪天候により中止4回 (10、11、12、1月)

3 人材育成

(1) 渡良瀬遊水地ボランティアガイド養成講座

渡良瀬遊水地の来訪者を案内するボランティアガイドを育成するため、養成講座を開催した。

- ・実施日 4月～12月の第4土曜日
- ・内容 渡良瀬遊水地の役割、歴史、自然について
- ・会場 ハートランド城、史跡保全ゾーン、他
- ・受講修了者 15人
- ・回数 9回

(2) 渡良瀬遊水地ガイドクラブの活動支援

渡良瀬遊水地ガイドクラブの組織運営の支援を行った。また、団体案内申込書の受付業務及びガイド担当者の調整も行った。

・ガイド案内実績

	谷中湖周辺	ハートランド城	合 計
日数(日)	257	117	374
利用者数(人)	3,851	1,710	5,561

(3) 渡良瀬ヨシ愛好会の活動支援

ヨシ細工指導スタッフ養成講座修了者の活動を更に発展させるため、「渡良瀬ヨシ

愛好会」の設立を支援した。設立後は愛好会の活用を図り、市と協働でイベントを実施したほか、多様な申込者からの依頼に応じてヨシ細工制作体験を行った。

・渡良瀬ヨシ愛好会活動実績

	作品展示	体験申込数
件数（件）	7	21
来場者・参加者数（人）	20,079	442

4 ハートランド城管理

(1) 施設管理

市民交流の場として渡良瀬遊水地情報コーナーの充実を図り情報発信に努めた。また、建物、駐車場及び施設内設備・物品の維持管理を行った。

・来館者数 約 8,500 人

(2) 施設の貸館状況

研修室の貸館を行っている。

使用件数(件)	使用人数(人)	使用料(円)
79	2,897	14,550